

SunMesse Information & Technology Exhibition 2019 を開催

11月21日(木)、本社及び本社第5工場において、「SunMesse Information & Technology Exhibition 2019」を開催いたしました。



当社はこれまでIPS*事業、パッケージ事業を成長戦略事業として掲げ、専用工場の増設や最新設備機器の導入など、事業拡大に向けた取り組みを推進してまいりましたが、これら事業を当社の新たな収益の柱とすべく、2019年4月、製販一体組織である「IPS・パッケージ本部」を新設いたしました。今回開催しました「SunMesse Information & Technology Exhibition 2019」では、この2事業に絞って、対象となるクライアント様をご招待して、万全のセキュリティシステムを整えたIPSエリアや衛生管理が徹底されたパッケージエリアなど、普段の工場見学ではご案内することのできない生産設備を特別にご披露させていただきました。



*IPS (Information Processing Service) …企業の重要情報や個人情報など、一点一点内容を変えて印刷するサービス

SunMesse Information & Technology Exhibition 2019



IPSエリアにおいては、万全なセキュリティ環境下で封筒や印字台紙の印刷から、印字・封入封緘まで行う社内一貫生産体制をご見学いただき、個人情報の取り扱いがセンシティブになっている昨今、一社責任体制を敷く当社のデータ・プリント・サービス(DPS)をアピールさせていただきました。



またパッケージエリアでは、製品の製造工程はもちろんのこと、健康食品や化粧品、医薬部外品のセット作業、アッセンブリまで対応できるクリーンルームもご覧いただき、当社の一貫生産体制のご紹介を行いました。ご参加いただいたお客さまには、「ゆっくりと見学できてしっかり説明が聞けて良かった」「これだけの設備が整っていれば安心できる」などのありがたいお声をいただきました。

今回の「SunMesse Information & Technology Exhibition 2019」では、国内でも「ワンストップ・ソリューション・サービス」をご提供できる数少ない企業として、当社の強みである社内一貫体制、一社責任体制をご体感いただけたものと考えております。

今後、「IPS事業」は都市部から周辺広域エリアへと販路拡大を推進。「パッケージ事業」においては、セット作業、アッセンブリの品質強化に取り組み、両事業を当社の新たな収益の柱となるべく注力してまいります。